

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-02-05-02
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業		
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目	基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	図書館・視聴覚ライブラリー
	問合せ先	担当課(室)	中央公民館
	職・氏名	館長 長 補佐・山口晋作	
	電話	64-1133	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	視聴覚教材を使用し、視聴覚教育を行う市内の団体
目的(何のために)	参加者の学習意欲の向上を支援する。
行政活動(どのような方法で)	・学校教育及び社会教育に関する視聴覚教材・教具の貸出 ・整備内容の充実 ・目録の発行
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	本事業が広く周知され、視聴覚教育振興の活性化に貢献する。

事業の実績					
活動実績	実施項目		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	教材ビデオ・DVDの貸出団体数	団体	63	57	30
	教材ビデオ・DVDの貸出本数	本	125	103	51
	視聴覚機材の貸出団体数	団体	114	69	72
	教材ビデオ・DVDの購入数	本	15	9	8
	直接事業費	千円	427	348	223
	人件費	千円	2,910	3,360	894
	事業費計		3,337	3,708	1,117
	国県支出金				
	受益者負担	千円			
市一般財源		3,337	3,708	1,117	
必要人員	人	0.45	0.45	0.15	
結果指標	結果指標名		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	教材ビデオ・DVDの貸出団体数	説明(延べ団体数)	63	57	30
	結果指標量	団体	63	57	30
	対前年比	%	-	90.5%	52.6%
	活動コスト	円	3,337,000	3,708,000	1,117,000
	単位当たりコスト	円	52,968	65,053	37,233
	視聴覚機材の貸出団体数	説明(延べ団体数)	114	69	72
	結果指標量	団体	114	69	72
	対前年比	%	-	60.5%	104.3%
	活動コスト	円	3,337,000	3,708,000	1,117,000
単位当たりコスト	円	29,272	53,739	15,514	

事業の成果			
成果指標名	教材及び機材の貸出団体(延)数	式又は説明	教材ビデオ・DVDの貸出団体(延)数 + 視聴覚機材の貸出団体(延)数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	177	126	102
対前年比		71.19%	80.95%
到達目標値	230	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	妥当性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	妥当性評価 <A~E> D 課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	貸出件数は減少傾向にあるが、人権週間及び交通安全週間の際、小・中学校からの貸出依頼が集中し、全ての要望に応えられない場合がある。
	市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	本事業においては、主に備品購入費を切り詰めることで、例年、予算削減目標を達成している。新規購入の選択肢が少なくなる一方で、貸出を伸ばすためには、現に保有している教材・機材の有効な活用を図るしかない。	
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		有効性評価 <A~E> D 課題認識
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		19年度は教材選定試写会の結果、生涯学習課及び生活安全係の購入希望作品を購入し、それぞれ有効に活用されていた。しかし、18年度以前に購入した教材の貸出件数が伸びず、3年間で最低の水準となった。
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了
目標値	結果指標量 60		結果指標量 70
成果指標量	130		

総合評価		評価区分 <A~E>	D
教材・機材の購入要望もあるものの、市の現状を考慮すると高額なものについては実現不可能である。今後は、前述の親子映画会のように事業の縮小を進めていく中で、可能な限りの効果を上げていきたい。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
		<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果